2021（令和3）年2月1日　第22号

たかさき里見人権プラザだより

やめよう！ なくそう！
コロナ差別

新型コロナウイルスに負けないために…
今、私たちにできること

- マスクの着用
- 手洗い、手指消毒
- 毎日の検温（体調管理）

ウイルスに感染した人や、その家族などの
うわさ話はやめましょう

インターネットの掲示板やSNSなどに
感染者等の情報や中傷する文章を書き込むのはやめましょう

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、感染者やその家族などの個人情報をさらして非難したり医療従事者や福祉関係者、外国人の方などを誹謗中傷する行為が発生しています。

どんなに気をつけていても、ウイルスに感染する可能性はだれにでもあります。

感染するかもしれないという不安感や恐れなど、理由はあるのかもしれませんが
「自分や家族が同じことをされたら…？」　一度立ち止まって冷静に考えて行動しましょう。

差別を受けたり、SNSなどに心ない書き込みをされてしまったら、**ひとりで悩まず相談しましょう。**

法務省　人権相談窓口

みんなの人権110番
☎0570-003-110
【平日8:30～17:15】

法務省 人権相談
jinkensoudan

子どもの人権110番
☎0120-007-110
【平日8:30～17:15】

Foreign-languages Human Rights Hotline
外国語人権相談ダイヤル
☎0570-090-911
【Weekdays 平日9:00～17:00】

高崎市　市民部　人権男女共同参画課　たかさき里見人権プラザ（相談受付は平日9：00～16：00）
〒370-3345　高崎市上里見町1072番地1　☎ 027-340-5131　FAX 027-374-4714
satomi-j-plaza@city.takasaki.gunma.jp

STOP コロナ差別

～みんなで広げようおもいやりの輪～

群馬県はシトラスリボンプロジェクトに賛同しています

感染したひとへの「おだいじに」 暮らしを支えてくれるひとたちへの「ありがとう」
あなたの気持ちを届けよう。

みんなでつくろう！ シトラスリボン

ぐんまけん
群馬県 シトラスリボン

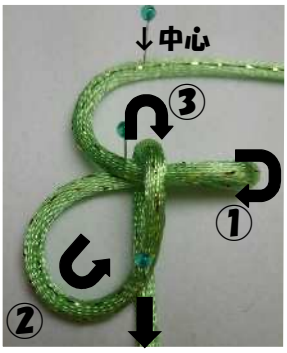
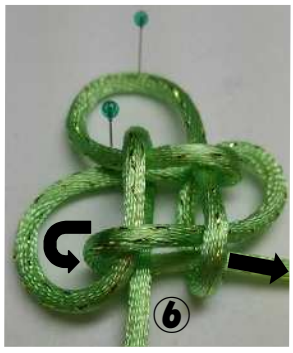
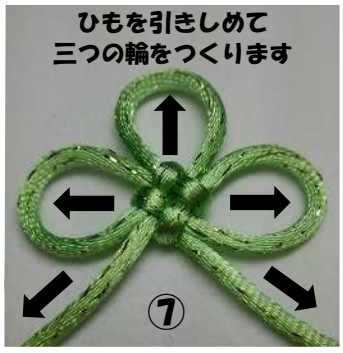
Citrus Ribbon PROJECT

あたりまえと思っていた「ふだんの暮らし」をゆさぶっている新型コロナウイルス感染症。
今や、どんなに気をつけていても、いつでも、だれでもウイルスに感染する危険があります。
シトラスリボンプロジェクトは、感染者や私たちの暮らしを守り、支えてくれる人たち（医療・福祉・物流・ゴミ収集・公共交通機関・小売業など様々な仕事に従事する人たち）への差別や偏見をなくそうと愛媛県の有志グループ「ちょびっと19+」がつくりました。
愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラスカラー（柑橘をイメージした黄緑、黄色、オレンジ色など）のリボンやひもを使って、『**地域・家庭・職場（または学校など）**』をあらわす「**三つの輪**」をつくれば「シトラスリボン」のできあがりです。
だれもが地域で笑顔の暮らしを取り戻せる社会になるよう、願いをこめてシトラスリボンを身につけたり玄関やポスト、職場の出入り口や窓口など、いろいろな人の目にふれる場所にかざってみませんか？

シトラスリボンのつくり方

【几帳結び】

【材料】 シトラスカラー（柑橘）をイメージした色のリボン、ひもなど身の回りにあるもの
ひもがない場合は100円ショップの大きなフェルトを細く切って使ってみたり
カラーモールを折り曲げる、色紙を細く切ってつなぐなど工夫してみてくださいね。

①左側のひもを折り曲げる。
②さらにひもを折り曲げ、輪をつくる。
③左側のひもの先を ①の後ろに通して折り返す。
④右側のひもを折り曲げ、①の輪の中に入れる。
⑤右側のひもの先を④の輪の中に通す。
⑥2本のひもを上から包むようにして折り返し
ひもの先をまた④の輪の中に通す。
⑦引きしめて『地域・家庭・職場（または学校）』をあらわす三つの輪をつくってできあがり！

慣れないうちは、発泡スチロールやクッションを台にして、待ち針でひもをとめながらつくってみるといいですよ。
（針に注意してください）